

おおだて 

令和6年5月1日 152号

市議会だより



令和6年3月定例会 議案等の審議結果……▶	2
一般質問……▶	6
議会報告会の結果報告……▶	13
私もひ・と・こ・と……▶	14

長根山展望台からの風景

3月定例会の主な議案等の審議結果



令和6年3月定例会は、2月26日から3月18日までの22日間の会期で開催されました。市長提出議案は、報告3件、専決処分の承認4件、条例案61件、単行案7件、予算案37件、人事案5件の合計117件でした。ここでは、審議の結果の主なものをお知らせします。

専決処分の承認

承認

- 認 第 1 号 大館市手数料条例の一部を改正する条例
- 認 第 2 号 令和5年度大館市一般会計補正予算（第11号）
- 認 第 3 号 令和5年度大館市病院事業会計補正予算（第5号）
- 認 第 4 号 令和5年度大館市一般会計補正予算（第12号）

条 例 案

原案
可決

- 議案第 1 号 大館市比内福祉保健総合センターに関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 2 号 大館市田代いきいきふれあいセンターに関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 3 号 大館市田代老人福祉センターに関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 4 号 大館市介護予防拠点施設に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 5 号 大館市高齢者生きがいセンターに関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 6 号 大館市斎場に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 7 号 大館市ペット霊園に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 8 号 大館市エコプラザに関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 9 号 大館市北地区コミュニティセンターに関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 10 号 大館矢立ハイツに関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 11 号 大館総合技能センターに関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 12 号 大館労働福祉会館に関する条例の一部を改正する条例案

条例案 (つづき)

原案
可決

- 議案第 13 号 大館市二井田市民集会所に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 14 号 大館市観光交流施設に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 15 号 大館市湯夢湯夢の里に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 16 号 大館市たしろ温泉ユップラに関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 17 号 大館市プルミエ比内に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 18 号 大館市ベニヤマ自然パークに関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 19 号 大館市農林業多目的研修集会施設等に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 20 号 大館市コンポストセンターに関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 21 号 大館市高齢者・若者センターに関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 22 号 大館市構造改善センターに関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 23 号 大館市宮牧場に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 24 号 大館市公園条例の一部を改正する条例案
- 議案第 25 号 大館市営住宅管理条例の一部を改正する条例案
- 議案第 26 号 大館市定住化促進住宅に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 27 号 大館市公民館使用条例の一部を改正する条例案
- 議案第 28 号 大館市松下村塾に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 29 号 大館市桜櫓館に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第 30 号 大館市放課後児童クラブに関する条例の一部を改正する条例案

ほか31件

単行案

原案
可決

- 議案第 61 号 大館市本庁舎建設事業外構整備工事の請負契約の締結について
- 議案第 62 号 基本構想の策定について
- 議案第 63 号 旧慣使用权の廃止について
- 議案第 64 号 市道路線の廃止について (大館駅東大館線 外7路線)
- 議案第 65 号 市道路線の認定について (東台7丁目10号線 外17路線)
- 議案第107号 高館テニスコート砂入人工芝改修工事の請負契約の締結について
- 議案第108号 議決内容の一部変更について (奥羽本線大館駅周辺整備事業に伴う大館駅合築駅舎等工事の施行に関する協定)

補正予算案

原案
可決

- 議案第 66 号 令和 5 年度大館市一般会計補正予算（第13号）案
 - 議案第 67 号 令和 5 年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案
 - 議案第 68 号 令和 5 年度大館市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）案
 - 議案第 69 号 令和 5 年度大館市介護保険特別会計補正予算（第4号）案
 - 議案第 70 号 令和 5 年度大館市介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）案
 - 議案第 71 号 令和 5 年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計補正予算（第2号）案
 - 議案第 72 号 令和 5 年度大館市休日夜間急患センター特別会計補正予算（第2号）案
 - 議案第 73 号 令和 5 年度大館市公設総合地方卸売市場特別会計補正予算（第1号）案
- ほか10件

当初予算案

原案
可決

- 議案第 83 号 令和 6 年度大館市一般会計予算案
- 議案第 84 号 令和 6 年度大館市国民健康保険特別会計予算案
- 議案第 85 号 令和 6 年度大館市後期高齢者医療特別会計予算案
- 議案第 86 号 令和 6 年度大館市介護保険特別会計予算案
- 議案第 87 号 令和 6 年度大館市介護サービス事業特別会計予算案
- 議案第 88 号 令和 6 年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計予算案
- 議案第 89 号 令和 6 年度大館市小規模水道等事業特別会計予算案
- 議案第 90 号 令和 6 年度大館市休日夜間急患センター特別会計予算案
- 議案第 91 号 令和 6 年度大館市公設総合地方卸売市場特別会計予算案
- 議案第 92 号 令和 6 年度大館市農業集落排水事業特別会計予算案
- 議案第 93 号 令和 6 年度大館市温泉開発特別会計予算案
- 議案第 94 号 令和 6 年度大館市奨学資金特別会計予算案
- 議案第 95 号 令和 6 年度大館市都市計画事業特別会計予算案
- 議案第 96 号 令和 6 年度大館市土地取得特別会計予算案
- 議案第 97 号 令和 6 年度大館市財産区特別会計予算案
- 議案第 98 号 令和 6 年度大館市水道事業会計予算案
- 議案第 99 号 令和 6 年度大館市工業用水道事業会計予算案
- 議案第100号 令和 6 年度大館市下水道事業会計予算案
- 議案第101号 令和 6 年度大館市病院事業会計予算案

3月定例会に提出された請願・陳情

継続審査

- 請願第 3 号 四十八滝温泉及び雪沢温泉郷の利活用を求める請願書
- 陳情第 14 号 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書
- 陳情第 15 号 公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興を求める陳情
- 陳情第 16 号 「あきたこまち」の「あきたこまちR」への全面切り替え計画に関する陳情書
- 陳情第 17 号 学校給食費の無償化を求める陳情書

継続審査となっていた請願・陳情

不採択

- 陳情第 10 号 健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情
- 陳情第 12 号 あきたこまちRについての陳情書

継続審査

- 請願第 2 号 大規模災害による農地・農産物等の継続的補償制度を国に求める請願書
- 陳情第 3 号 学校給食費の無償化を求める陳情書
- 陳情第 4 号 ゆたかな学びの実現及び教職員定数改善並びに義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情について
- 陳情第 6 号 日本犬・秋田犬の保存・振興に寄与する広報の一環の実施
- 陳情第 7 号 学校における教員不足と長時間過密労働解消のために、学級編成標準と基礎定数の改善による正規教員増を国に要請することについて
- 陳情第 13 号 年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情

大館市議会 議決結果

検索

クリック



ふるさと納税について

あかし ひろやす
明石 宏康 (真政会)

もといった、「もしも」のような状況だった。昨年のクマの異常出没は記憶に新しいところでもあり、議論を始める機は熟している。

〔市長〕 堅調な伸びをしている一方で、短期間の大量の受注により返礼品の米が欠品するなど、うれしい悲鳴だが課題も出ている。受け取る側、納品する側の双方が満足する取引で安定供給が長続きする基本となる。任期はわずかだろうが解決への道筋を示してほしい。



〔市長〕 未納品となった寄附者の皆さまには代替案をお示しして、一定のご理解をいただいております。現在のところ大きな混乱はなく作業を進めている。大館のブランド力の急速な高まりを痛感する事案となった。生産者や事業者とともに新たな返礼品の開発や安定的供給体制を構築していく。

鳥獣処理加工施設について

〔市長〕 7年前にも同様の提案を行ったが、当時はこの先二ホンジカが増えるかも、イノシシが現れるか

〔市長〕 昨年の捕獲数は過去最多を記録したが、一方で捕獲した個体の解体・処理に苦慮している。県では県北地域における処理加工施設の設置や財政的な支援について、市町村と検討していきたいとしている。これを好機と捉え、運営形態・流通や販路の確保、採算性などしっかりした戦略を描きながら、市場に流通させる仕組みについて前向きに議論を進めていく。

Eco-リユース

〔市長〕 旧来の公共交通を見事に補完している。関心はあるが、スマホで申し込みのできない多くの高齢者がいる。潜在需要を掘り起こせば一層の利用者増につながるだろう。

〔市長〕 スマホをお持ちでない方や操作に不慣れな方のため、コールセンターを設置し、オペレーターが電話での予約に対応している。スマホがなくてもmobiを利用していただけることができるので、安心してお使いいただきたい。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

「地域商社」の設立を望む

ひかけ けんてい
日景 賢悟 (真政会)

として大いに期待すべき組織と認識している。組織の在り方について今後検討を進め、幅広い領域で経済の好循環と市の活性化を総合的に担う「地域総合商社」を目指していく。

「ライドシェア」の運用可能性について

〔市長〕 昨今、「ライドシェア」について国が急速に議論を進めている。市内でもタクシーや代行がつかまらないといった市民の声も多く、「ライドシェア」に対する関心も高まり、未来の公共交通の救世主としても期待されている。一方、バス会社やタクシー会社などと話し合いを進め、民業圧迫にならない準備体制が求められる。公共交通空白地域、免許返納者の増加、観光客の増加など公共交通の多様なニーズの高まりに対し、市としての「ライドシェア」の運用可能性について伺う。

〔市長〕 高齢化や免許返納により、公共交通へのニーズが高まる一方、ドライバー不足が深刻化し、移動手段の確保が全国的に課題となる中で、「ライドシェア」は新たな移動手段として市としても注目している。導入に当たっては、タクシー業界の合意形成と体制の強化を協議、推進しながら「共同配車システム」の勉強会を立ち上げ、その中で議論を進めていく。



〔市長〕 多様化する地域課題の解決と、行政のスリム化を図るため、今まで以上に官と民の水平連携が求められる。官民協働で政策を実現するための実行組織として「地域商社」の設立を望む。行政が50%、民間が50%出資した大館市全体の利益を最大化する民間会社であり、その役割は多岐に及ぶと考える。特に、観光事業や交流事業はその裾野が広い。また、農産品の加工販売や、既存施設の収益拡大、ふるさと納税拡大業務などは「地域商社」に委託し、行政は本来持つシンクタンク機能に専念すべきと考える。

〔市長〕 「地域商社」は、まちの稼ぐ力を強める組織であり、外貨獲得と市内への投資による経済循環を図ることで、所得向上につながることでできる。また、運営や実務には民間の得意とする専門性や機動性を発揮しながらも、公共性を両立させた対応が必要。食品産業拡大のための司令塔としての可能性や、ふるさと納税拡大のためのプロデューサー

健診センターの設置を ―特定健康診査の受診率向上へ―

伊藤 深雪 (公明党)



〔問〕 住宅街の飼い犬のふんの放置、車や自転車の迷惑走行などマナーに関する市民の声がありました。快適な市民生活を確保するため、法律や条例に加え、渋谷区のデジタル地域通貨事業のように、町内などの地域活動やボランティア活動の参加にポイント付与をしようか。

〔市長〕 議員紹介の渋谷区のデジタル地域通貨事業などは、地域活動参加への動機付けにもつながると捉えている。地域ポイントと地域通貨と合わせた仕組みづくりを検討する。

子ども医療費の助成拡充を

〔問〕 助成を受けている4人の子どものお母さんからは、上限1000円の助成でも、小児科・耳鼻科・歯科を受診するとそれぞれで上限1000円ばかり、大変とのこと。昨年、高校生まで助成が拡充されたため、一歩前進して「3人以上いる世帯の子どもの医療費を無償化」にするべき。

〔市長〕 子どもに係る福祉医療制度は、今年度18歳高校生相当まで対象の拡大を決定した。令和6年8月から県に合わせ所得制限を撤廃する。多子世帯の子ども医療費無償化については国の動向を注視し検討する。

市民のモラル・マナー向上に ポイント付与を

〔問〕 人間ドックや健診を受けたくても予約が取れず、次の年まで待った人がいる一方で、特定健康診査を受けてない人の方が、受けた人より生活習慣病治療費が4万円弱も高い結果が報告された。特に糖尿病性腎症は医療費のかかる透析の原因になることから重症疾患に国が位置付けている。さまざまな病気の早期発見・重症化予防が可能となる特定健康診査、その受診率向上のため健診センターの設置をするべき。

〔市長〕 健診センターの設置については、糖尿病などの生活習慣病や、がんの早期発見・早期治療につながることから、必要性を感じている。特定健診の更なる受診率向上を図るため、健診センターの設置を含め健診を受けやすい環境づくりに取り組んでいく。

一般質問

一般質問の全文は、6月中に、市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

市立病院での眼科の手術対応について

相馬 エミ子 (市民の風)



〔問〕 市内の眼科はどれも混雑している状況で、白内障等の手術は半年以上も待たされる上、緊急を要する場合は弘前や能代の病院を紹介されるなど、通院のできない高齢者は困っている。市立病院では現在常勤の眼科医がいないうちで、非常勤医師も他の病院に転出したため手術を休止している。今後の市立病院の眼科医確保と手術対応について、いつ頃から再開するのかわかるか。

〔病院事業管理者〕 市立病院での眼科の手術は3月末まで予約で埋まっているため、早期の手術希望の方には他の病院を紹介している。医師派遣について大学から通知がなく、白内障手術の再開は未定であり、予約を中断せざるを得ない状況にある。引き続き、大学眼科医局に働き掛け、医師確保に努めてまいりたい。

地域防災計画について

〔問〕 今回の能登半島地震によって真冬の災害の恐ろしさを改めて思い知らされた。防災の備えが命を守ることもあり、これを機会に防災意識を高め備えることが大事ではないだろうか。福祉避難所については、今回の能登半島地震では2割しか障害者や高齢者に配慮していなかったことが問題となっていたが、本市の備蓄と福祉避難所について、どのようなになっているのか。

〔市長〕 備蓄については県の防災計画において3日間の生命維持と19品目の備蓄量を定め、県内25市町村による共同備蓄を実施。また、県外の6自治体と相互応援協定等により災害時の物資供給や確保に努めている。福祉避難所については、運営にリーダーとして女性を選任する、プライベートルームの確保、窓口に女性を配置するなど環境の整備に努めていく。市民の防災意識を高めるため市民参加型・実践型の訓練を行い、さらなる連携強化に取り組んでいく。

〔問〕 空き家の利活用促進について。

〔市長〕 空家等対策計画に対するパブリックコメントを実施し、27件の意見をいただいた。市ホームページに掲載する。

大規模自然災害が発生しても「みんなが助かる」インクルーシブ防災の取り組みを進めよう

工藤 賢一（市民の風）



〈問〉 能登半島地震においては、道路やライフライン寸断により救助や支援が困難となる事例が多く発生した。中山間地域の防災においても共通する課題があるものと考えますが、地域防災計画見直しの考えはないか。

〔市長〕 大規模な自然災害では、県及び全市町村と「災害時における相互応援に関する協定」を締結しているほか、県外では渋谷区をはじめ6自治体と協力する体制を整えている。また県内陸北部で地震が相次いだことから、有識者により初動対応と応急対策の具体的な備えを検討し、方向性を取りまとめることとしている。地域防災計画の見直しや避難所開設・運営マニュアルなど随時改定しながら、防災体制の強化に努める。

〈問〉 「要配慮者」と呼ばれる高齢者・障害者等の死亡率、災害関連死

の発生率が高いことが明らかになっている。災害が発生しても「みんなが助かる」インクルーシブ防災の取り組みを進めよう。

〔市長〕 先導的共生社会ホストタウンである本市としては、誰もが住みやすい社会の実現に向けて、ユニバーサルデザインのまちづくりの取り組みを進めており、これはまさに包摂的防災（インクルーシブ防災）につながるものと考えている。

将来の介護サービス供給体制

〈問〉 将来的な介護サービス需要増と人材不足が想定される中で、中学校単位で展開する「分散型」小さな拠点「整備」を慢性期医療・介護のあるべき姿として想定しているが、医療・介護・福祉専門職からの意見は十分反映されているか。

〔市長〕 昨年12月より在宅医療介護連携推進協議会実務者会議と専門部会を開催し、多職種の連携強化と事業所間の情報共有が重要との意見をいただいた。「小さな拠点」整備の方向性については、「集約せざるを得ない」という共通認識を得られたことから、同協議会を中心に関係機関と連携し、進めていく。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

町内会について 移住者数の把握方法について 屋外スポーツ施設の早期開場について

吉田 勇一郎（令和会）



〈問〉 町内会から、どこに相談すればよいか分かりにくい、町内会が抱える問題に対して解決しようという動きが鈍い、との指摘がある。町内会と連携するための主管課を設けては。

〔市長〕 町内会は住民自治を市とともに支える重要なパートナーと考えている。担当は一義的には総務課だが、専門性を要する相談はスピード感を重視し各課が対応している。役員の担い手不足という課題を抱える町内会を維持していくためには、地域の誰もが参加しやすい環境づくりが必要と考える。町内会の活動も新しい手法を取り入れるなど持続可能な組織への転換を柔軟に図っていくことが求められている。地域社会を支えるパートナーとして町内会とより一層連携していく必要性を感じている。

〈問〉 デジタル推進委員と連携し町内会役員のデジタル活用を支援しては。

〔市長〕 昨年3月に大館市DX推進基本方針を策定し、3つの柱のひとつとして情報格差の解消を目指している。国が任命するデジタル推進委員とは目的を同じくする。地域コミュニティの維持・活性化につなげるため、デジタル推進委員との連携協力を検討したい。

〈問〉 現状では移住者数の補足漏れがあり機会損失が発生していると考えられる。移住者の全体数を把握できる計測方法に変更しては。

〔市長〕 移住者の定義は自治体ごとにばらばらである。数字を用いた他市町村との比較に一喜一憂すべきものではない。大事なことは、実際に本市に移住した方に、大館に住んでよかったと思っただけでなくである。

〈問〉 積雪状況に応じて屋外スポーツ施設を早期開場できないか。

〔市長〕 現在、早期開場を見据え、指定管理者や関係業者と調整している。開場が決まったら市ホームページなどで告知する。

持続可能な大館市を実現

田村 儀光 (真政会)



〔問〕 新年度予算について3点質問する。(1)黄金の秋田犬像取得費1650万円に疑問視する声があるが。(2)道の駅新設の予算が見当たらないが。(3)除雪の契約方式の見直しを提案する業者もいるが。

〔市長〕 (1)黄金の秋田犬像は昨年11月の第4回秋田広域観光フォーラムに向け、北前船交流拡大機構の会員企業である㈱S.G.Cがハチ公生誕100年に当たる年に秋田犬のふるさと大館で開催されることを記念して製作したものであり、ハチ公生誕100年フェスティバルin渋谷や、ハチ公生誕100年フェスティバルin大館でお披露目された。本市にとっての経済効果は既に18億円以上である。これからの100年もハチ公とその物語を語り継ぐ象徴とし、本市の交流人口拡大につなげるため各種イベント等で積極的に活用していきたいと考えている。(2)道の駅整備については、国の支援メニューが

豊富にあることから、現在関係機関との情報交換を行い、事務レベルでの準備を進めている。関連事業費については準備が整い次第、速やかに予算案を上程させていただく。(3)除雪の契約方式には本市における単価契約のほか、シーズン契約など自治体によりさまざまだが、業者の意向も参考に、より質の高いサービスの提供に努めていく。

〔問〕 町内会との連携の在り方、窓口を設置すべき。また、行政協力員制度の見直しの時期と思うが。

〔市長〕 住みよい地域づくりを進めるためには町内会との連携は欠かせないものと考えており、より一層連携していく必要性を感じている。行政協力員制度は、合併時に大館市の制度に統一することで現在に至っており、ご指摘のとおり設置規則の基準世帯数と実情が異なっている区域もあり、町内会との連携の在り方と併せ検討していきたいと考えている。

〔問〕 大館版包括的民間委託は昨年東北で唯一モデル地域に選定され試行中。現状と今後の予定は。

〔市長〕 今年度は比内と十二所地区で試行中。令和6年度は二井田・真中地区、7年度は田代と下川沿地区、8年度は市内全域でと考えている。

一般質問の全文は、6月中に、市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

生活公共交通網空白地域における 共助型交通の可能性について 集落支援員の導入について

秋元 貞一 (令和会)



〔問〕 市民が主体となり、地域の足を支える共助型交通を支援している自治体がある。共助型交通とは中山間地域や、郊外での移動手段に困っている住民を助け、地域の持続可能な生活交通手段の確保を目的としている。既存の公共交通を利用したい住民の最寄りの駅やバス停までの送迎や、地域内輸送などの公共交通の補完的な役割があり、生活公共交通網空白地域における住民参加型共助型交通に対する行政からの取り組みを提案する。

〔市長〕 現在、大館市公共交通網形成計画の見直し、利便増進実施計画の策定を予定している。既に現計画においても、公共交通を市全体で支える体制の構築について検討を進めている。高齢化や免許返納により公共交通機関へのニーズが高まる一方、ドライバー不足が深刻化しつつ

ある現在において、地域住民による共助型交通は、交通結節点までのアクセス手段として公共交通を補完するものであり、交通空白地区の移動手段を確保する、課題解決策の一つと捉えている。まずは地域でどのような手段が望ましいか話し合っていたとき、地域の機運が高まった際には市としても最大限のサポートをしていく。

〔問〕 集落対策の推進に関してノウハウ・知見を有した人材が、地方自治体からの委嘱を受け、市町村職員と連携し、集落への目配りとして集落の巡回、状況把握等を実施するのが集落支援員の役割であり、全国的にも多くの活用事例がある。本市での導入を強く望む。

〔市長〕 本市では地域活性化と移住・定住者の増加を見込んで、これまでに42人の地域おこし協力隊を受け入れている。集落支援員については、共通する目的を地域住民が自ら考え、決断し、行動するといった住民自治の原点に立ち返るための支援と考えており、集落支援員の導入については各地域の実情に応じたニーズを把握しながら、その活用を研究していく。

市職員の働き方について

いわもと
岩本 裕司 (市民の風)



られる環境づくりに努める。職員の適正化を図り、誰もが働きやすい職場環境の整備を図っていく。

市民生活の根幹を支える一般廃棄物処理センター(大館グリーンセンター)ごみ処理場の今後について

〔問〕メンタル不調に対して相談件数はどうか。少ないのであれば相談しやすい環境を整える必要があるかどうか。

〔市長〕10月以降、メンタル不調による新たな休職者は4人。1か月以上の病気休職者は5人。このうち5人職場復帰している。衛生管理者による健康相談を実施し、複数の窓口を設け職員がより利用しやすい環境を心身の不調の予防・早期発見できる体制を整備している。

〔問〕職員不足、若年層の早期退職者が発生している要因として、業務量の多さによる心的病が発症する前に職場を去ることを自ら選んで離職してしまう結果、職員の不足につながっているのではないかと。上司がしっかりとサポートし、業務量の削減に努め、職員が余裕の持てる職場づくりをするべきである。

〔問〕現施設は、供用開始から18年が経過している。焼却炉の供用期間は概ね30年から40年とされている、今後も設備の改良を加えて使用していくのか。また、国・県ではごみ処理の広域化の施策を示しているが、広域化を進めるのか市単独で進めるのか。新グリーンセンター建設は、安全な場所を選び、環境に優しく、搬入に危険性の無い、廃熱利用や再生可能エネルギーを活用した施設や地域の農業などに利用できる施設とするべきではないか。

〔市長〕現施設は、令和13年度までの運営を予定している。次期一般廃棄物処理事業については、ごみ処理の広域化を視野に入れながら施設の延命化を含め検討していく。排出量が減少する中で、一般廃棄物処理事業を安定的に継続するためにも広域化を進める必要がある。鹿角市・小坂町との協議をスタートさせ、ごみ処理の現状と課題の整理や広域化の手法、事業用地の検討を進める予定である。施設周辺の環境負荷の低減と安全・安心な事業の継続に最大限努めていく。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

鉄道の赤字解消に向けた対策は市の広報媒体として民放のテレビ回覧板を活用すべき

はなた
花田 強 (市民の風)



〔問〕JR東日本では2020年の赤字路線の収支を発表した。大館駅の関係する路線は合計64億41万円になる。この赤字路線について国土交通大臣は「事業者任せにせず地域と事業者が真剣に話し合っていかなければならない」と言っている。また、JR東日本秋田支社長も「支社管内でも、もう議論に入っていかなざるを得ないところもあり、自治体の方々と話し合っていかなければならない」と発言している。話し合いの一つには赤字額の補填の話があると思うが、市民はJRへの支出には敏感になっているので、赤字補填の場合は市民に十分な説明をしてほしいと思う。このような提案があった場合の市長の考えは。

〔市長〕平均通過人員が1日当たり

2千人未満の線区の収支は奥羽本線、花輪線を含む34路線全てが赤字であり、今後の持続可能な交通体系の維持は重要な課題であると認識している。現段階では路線存続に要する費用負担等の議論ではなく、関係者が一丸となってあらゆる利用促進に努め、路線の維持・存続に向けて取り組むべきと捉えている。

〔問〕市の広報媒体として民放のテレビ回覧板を活用すべき。

〔市長〕市の情報発信については広報おおだてやホームページのほかSNSやアプリ、FMラジオおおだてなどを活用している。広報は紙媒体の配布だけではなく、データで閲覧できるよう利便性の向上に努めている。テレビのデータ放送を利用した情報発信は簡単に閲覧できることから、誰でも情報を受け取ることが出来るため、市民への情報発信手段として有効なツールの一つであると考えている。市では情報発信手段の多様な必要性を認識しており、他市の事例を参考に検討する。

能登半島地震の教訓を、大館市の地域防災計画に 反映を 学校給食費の無償化について 介護職員の待遇改善を国へ要望する

今泉 まき子 (日本共産党)



〔市長〕 能登半島地震の教訓を、大館市の地域防災計画にも反映させることについて。

〔市長〕 市では、毎年「避難所開設運営マニュアル」に基づいて訓練と検証を行い、随時見直しを図っている。寒さ対策、感染症予防、女性のプライバシー保護、要配慮者の環境整備等対応できるようにしている。能登半島地震を受け、国や県の計画等との整合性を図った上で見直しやマニュアルの改定を行っている。

市民の要望に応じて学校給食費を無償化することについて

〔市長〕 市では、これまでも低所得者世帯には就学援助制度などによ

り給食費の支援を実施しているほか、昨年度から給食費の物価上昇相当分を補助している。本市においては、給食費の未納がない状況であることから制度として健全に運用されている。無償化については、国が策定した「こども未来戦略方針」に沿って具体的方策を検討していることから今後の方向を注視していく。

介護職員の待遇改善を図るよ う国に働き掛けを促すことについて

今泉 まき子 (日本共産党)

〔市長〕 厚生労働省が示した令和6年度からの報酬改定案は、全体で1.59%増としている。条件を満たす場合は基本報酬の24.5%まで加算できるとされており、トータルで捉え、対応していく必要がある。

介護職員の待遇改善を図るよう国に働き掛けを促すことについて

〔市長〕 訪問介護の報酬が下げられようとしているが、市長の考えは、

〔市長〕 資格取得費用の助成や介護職魅力発信を継続する。生活基盤、介護施設、診療所などを集約した拠点を複数地区で展開する分散型「小さな拠点」整備が本市の介護サービスのあり姿と想定している。

〔市長〕 市では今年度、新たに老朽空家等解体撤去費補助金を創設するとともに、空き家の放置リスクや利活用について学ぶセミナーや個別相談を開催するなどの取り組みを進めている。また、民間業者と「空家等の除却促進に係る連携協定」を締結し、スマートフォンなどからAI

〔市長〕 市では今年度、新たに老朽空家等解体撤去費補助金を創設するとともに、空き家の放置リスクや利活用について学ぶセミナーや個別相談を開催するなどの取り組みを進めている。また、民間業者と「空家等の除却促進に係る連携協定」を締結し、スマートフォンなどからAI

一般質問

一般質問の全文は、6月中に、市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

増え続ける空き家の対策について 町内会活動の今後について

柳館 晃 (真政会)



〔市長〕 空き家の対策について。空

〔市長〕 空き家の対策について。空き家の実態調査の結果、令和5年10月時点で2464戸で4年前より66戸増加している。市では空き家バンクの登録強化や解体の促進など、さまざまな施策を講じているが、担当課だけでは対応できないのが現状である。これを受けて1月31日、(株)フラッシュネットと「空家等の除却促進に係る連携協定」を締結したとのことだが、空き家対策にノウハウを持つ民間業者との連携は重要かつ効果的であると思うので、連携の強化を図ってもらいたい。

〔市長〕 市では今年度、新たに老朽空家等解体撤去費補助金を創設するとともに、空き家の放置リスクや利活用について学ぶセミナーや個別相談を開催するなどの取り組みを進めている。また、民間業者と「空家等の除却促進に係る連携協定」を締結し、スマートフォンなどからAI

により解体費用の概算額を計算できる「解体費用シミュレーター」や、24時間利用可能な「お困り空き家の連絡フォーム」を導入した。また、先般の法改正を踏まえ、総合的な対策の強化を図るべく、大館市空家等対策計画協議会において、大館市空家等対策計画の改定に向けた作業を進めている。

〔市長〕 町内会活動の今後について。町内会の主な活動は、クリーンアップ、ごみ集積場や街灯の維持管理、防災訓練、交通安全対策、高齢者地域支え合い支援事業など。町内会長の職務は、民生委員や行政協力員の推薦などであり、どちらも多岐にわたっていて、もはや任意団体という捉え方では済まされないほど行政と密接な関係にあると思うが、市長の考えは。

〔市長〕 町内会からいただく相談事は専門性が求められる内容が多いことから、対応する市側の主管部署も異なるが、地域社会を支えるパートナーとして町内会とより一層連携していく必要性を感じている。地域の暮らしに関わるさまざまな関係機関や事業者・企業とも連携を図りながら、町内会との連携の在り方を検討していく。

福原市政9年の総括 病院事業経営強化プラン 農産物生産対策 黄金の秋田犬像は必要か



吉原 正 (市民の風)

〔市長〕 「大館には何もない」という思い込みを打破し、外貨を稼ぐ「ものづくり」と外からお客様を呼び込む「物語づくり」を高めるため、他市町村等との連携を重視してきた。市長としての経験と知恵を生かしながら、挑戦する自治体を応援できる政治をつくっていく。

〔市長〕 病院事業経営強化プランでは、扇田病院について、病床を持ちながらの存続が提案されている。市民から評価する声、安心したとの声が寄せられているが、市長はどのような見解であるか。

〔市長〕 将来の方向性として診療所化案を堅持する考えに変わりはない。扇田病院の課題は残されており、9年度以降への第一段階である。

〔問〕 病院事業管理者は、扇田病院の方向性について、あらゆる選択肢を考慮するとしてきた。コンサルタントの報告が反映されているか。

〔病院事業管理者〕 策定支援業者の専門的知見、分析を基に検討を重ねた。支援業者の慢性期医療需要は当面微増傾向にあるとのデータが示されたため、扇田病院の病床を維持することにした。

〔問〕 高温、水不足等が懸念される。研究機関などからの新対策情報を収集し、発信すべきである。

〔市長〕 異常気象は今後も継続的に発生する可能性があることから、情報収集のもと適切な情報提供で生育障害、品質低下などの対策を進めていく。

〔問〕 市民は物価高の中で厳しい生活をしている。高い「黄金の秋田犬像」よりも市民に身近な予算の使い方を望む声が届いている。購入に至った経緯、必要とした判断は何か。

〔市長〕 北前船交流拡大機構の会員企業のSGCがハチ公生誕100年を記念して製作した。黄金の秋田犬像は、これからの100年もハチ公とその物語を語り継ぐ象徴として本市の交流人口拡大、国内外の誘客に積極的に活用していく。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

病院事業の方針について 厚生労働省が発表した訪問系介護 報酬引き下げの影響と人手不足問題について



石田 健佑 (無所属)

して自治体に財政支援している。広域であることを前提に予算措置をいただいており、赤字に対して他市町村から負担金をいただくということは今では考えていない。

〔問〕 訪問看護ステーション等の政策医療サービスの提供エリアはどこまでを想定しているか。

〔病院事業管理者〕 訪問看護ステーションは政策医療ではなく、入院患者のスムーズな退院を促すために設置するものである。提供エリアについては、大館市内を想定しているが、入院患者の割合は大館市が85%、市外からは15%となっているため、場合によっては市外に行くこともあり得る。

〔問〕 二次医療圏再編や北秋田市民病院の産婦人科で分娩の取り扱いを中止することなどに伴い、市外の患者が増えることが予想される。圏内の他自治体にも利用に応じて負担金の協力を要請するべきではないか。

〔病院事業管理者〕 不採算な政策医療に対しては、国が地方交付税と

〔問〕 厚生労働省の次期介護報酬の改定案では訪問系の基本報酬が引き下げとなり、一部事業者はすでに撤退している。孤立防止のため、事業者への支援、または訪問介護サービス利用者の入所施設への転換促進を早期に進めるべきではないか。

〔市長〕 人材を含む医療・介護資源を有効かつ効率的に活用できるシステム創出が必要。生活基盤・高齢者住宅・介護施設・診療所を集約的に提供する「小さな拠点」の整備が適している。

〔問〕 介護業界では人手不足が深刻化している。介護職員の働きながらの進学支援など、医療・介護・福祉のPRやブランディング、採用等を支援する考えはあるか。

〔市長〕 介護福祉士等の資格取得支援や若い世代への介護職の魅力を伝える活動に引き続き取り組む。介護職員が小学生へ出前講座をするなど、県の事業と連携して市でも展開していく。

令和6年 議会報告会の結果報告

4年ぶりの開催となった議会報告会にご参加いただき、誠にありがとうございました。市民の皆さまから頂いた貴重なご意見やご提言につきましては、今後の議会活動に生かしてまいります。なお、紙面の都合上、ご意見・ご要望等の全てを掲載することはできませんでしたので、何とぞご了承ください。



<議会報告会の様子>

開催日・参加人数

● 2月6日(火)
中央公民館 14人

市への意見・要望など

- ◆ 除雪オペレーターの變更により、除雪の精度が落ちてきている。オペレーターに技術講習会や作業基準の説明を行っているか。行政でも技術指導していくべきではないか。
- ◆ 遊休農地が増え、クマ被害が増えている。官民が連携した遊休農地の活用策やクマ対策を実施してほしい。
- ◆ 太陽光パネルの設置が増える中、一部の設置業者が草刈りを怠り、クマなどの野生動物の出没が問題となっている。適切な管理と対策を講じてほしい。
- ◆ クマの出没情報を地域住民全員が得られるためにも、現状のラジオやアプリのほか、より効果的なデジタルツールの活用を検討してほしい。また、麻酔銃や猟銃を使用できない住宅地等での対策についても知る機会がほしい。
- ◆ 人口減少が進む中、地域の特性に合った医療体制の確保を、一次医療機関と連携して行ってほしい。
- ◆ 病院事業経営強化プランは、市民のために安心できる計画にしてほしい。
- ◆ 行政に町内会の担当窓口がない。札幌市には「札幌市未来へつなぐ町内会ささえあい条例」がある。議論してほしい。
- ◆ いつまで秋田犬のみに頼った観光づくりをするのか。観光のためにも、道路、移動のインフラ整備をもっとしてほしい。
- ◆ 市のクマ対策費用は、県の真似をしただけに見える。市独自の対策を考えてほしい。
- ◆ 市のリーダーとなるべき人材育成について研究してもらいたい。
- ◆ 病院事業の収益を上げるためには自費扱いの健診をもっと推進していただかないか。
- ◆ 医師確保を頑張っている。市立病院の待ち時間対策も検討してほしい。

私もひ・と・こ・と 第53回

かわぐちみさき
川口末沙希さん (幸町)



若者も、高齢者も、みんなが地元で笑顔ある暮らしを

私が介護のお仕事と出会ったきっかけは、長年介護職を務めてきた叔母の勧めでした。当初の介護に対するイメージは、体力勝負、業務内容が多い、職場の対人関係が大変；等々、マイナス面ばかり。それが、かいこの学校大館ケアワーカースクールで、介護職員初任者研修講座を受講すると、イメージが180度転換。地元で活躍している介護の講師の方たちとの出会いと学びによって、大変ながらも人との

交流を持てるやりがいがある仕事だと気付きました。資格取得後は、ケアセンターこころのヘルパーとして介護職員の仲間入りに。当時は年齢が若いヘルパーだったため、掃除や洗濯等の生活援助の支援が要領よくこなせているか、若いことで利用者様の小さな変化に気付いているか不安になることもたくさんありました。しかし、職場の先輩から「ケアする自分 まずは笑顔であること」とアドバイスを受け、とても心が打たれ、即実践。効果てきめんで、利用者様も笑顔に。介護技術では、困難な場面に対して常に探求心。先輩方と話し合い、いろんな方法を試してうまくいったときの達成感がとてもたまりません。また、人生の先輩である利用者様から子育てのコツや、生活の工夫を聞き、勉強になりとても充実した日々となっていきました。自身の家族の介護では医療機関や日ごろから連携をとっている多職種の方々から教えていただきながら、祖父や義母の介護を自分を持っている知識と技術をフルに活用し、最期をみとることができ

株式会社シースマイル取締役
かいこの学校大館ケアワーカー
スクール学校長
地元大館で介護の魅力を伝えながら人材を育成中！

ました。介護の仕事をしていて本当によかったなと、心から実感しました。もっと多くの人に介護への興味や、やりがいを感じていただきたいと介護の講師の道を志し、指導者として、今年で10年目。少子高齢化の現在、大館市も令和35年を迎える頃には介護を担う人材が650人以上不足になるといわれています。大館市では、介護職員の人材確保のため資格取得に関わる費用の支援事業に取り組まれております。大館市在中の方は、この支援を活用して高校生から資格取得可能です。大館市の将来のため、介護への理解や介護に興味がある方の輪がさらに広がっていくことを願います。これからも精一杯、頑張ります。

「私もひ・と・こ・と」のコーナーでは、みなさんからの「なまの声」を募集しています。また、表紙の写真についても募集しています。

議会事務局までご連絡ください。

「おおだて市議会だより151号（令和6年2月1日号）の訂正とお詫び」

おおだて市議会だより151号において、間違った表記がありました。

つきましては、左記のとおり訂正させていただきます。深くお詫び申し上げます。

6ページ (正) はなた つよし (誤) はなだ つよし

編集後記

この度、能登半島地震で被災された皆さまに心よりお見舞い申しあげ、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

暖冬の影響で本当に雪の少ない冬でした。議会報委員会は、新人議員5人でスタートし、今号から田村秀雄委員が加わりました。より分かりやすく読みやすい議会だよりを市民の皆さまにお届けしたいと考えております。お気付きの点がありましたら、ご意見やアイデアなどお寄せください。お待ちしております。



(今泉 まき子 記)